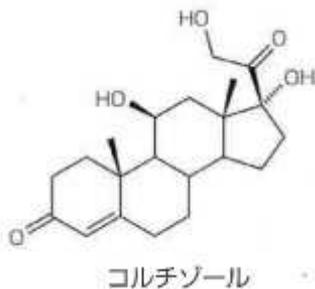


CORT (コルチゾール)

血液検査用コルチゾールキット

コルチゾール (Cortisol) は、副腎皮質で産生される最も重要な糖質コルチコイドの一種であり、各組織に作用して糖質・脂質・たんぱく質代謝の調節、血糖上昇作用、及び抗炎症・抗アレルギー作用などの生理作用を有します。



その血中濃度は、下垂体から分泌される副腎皮質刺激ホルモン (ACTH) により調節され、産生されたコルチゾールは ACTH 産生を抑制するというネガティブフィードバックによりバランスを保っています。

ACTH 同様日内変動が確認されており、一定時間 (早朝) に採血することが必要です。

コルチゾールはクッシング症候群においては過剰に産生・分泌され、他方、副腎病変によりコルチゾール分泌が減少した場合は ACTH の産生を誘導します (アジソン病)。内分泌機能検査として、副腎からのコルチゾール分泌能を確認するデキサメサゾン抑制試験、副腎皮質機能低下症を調べる ACTH 負荷試験などの指標として使われ、副腎疾患の診断ならびに視床下部-下垂体-副腎皮質系の検査に有用です¹⁾。

1) 堀場伸郎 須田俊宏：内分泌機能検査の実際. ACTH・糖質ステロイド、ホルモンと臨床、43、夏季増刊号、27-36(1995)

仕様

試薬構成

免疫反応試薬	Eテスト「TOSOH」II (コルチゾール)	(100テスト/箱)
標準品	Eテスト「TOSOH」II (コルチゾール) 標準品セット	(6濃度、各2本/箱)
検体希釈液	Eテスト「TOSOH」II (コルチゾール) 検体希釈液	(4mL x 4本/箱)

対象検体種 血清、ヘパリン血漿

測定時間 免疫反応時間 10分 (1ステップ競合法) 結果報告 約20分

測定範囲 0.2 ~ 60 $\mu\text{g/dL}$

健常人参考値 6.4 ~ 21.0 $\mu\text{g/dL}$ (社内データ)